



横浜市立桂小学校

桂小だより

KATSURA NEWS LETTER

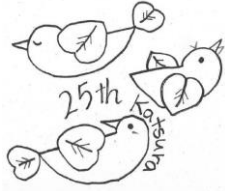
2月号

令和5年1月30日

Web: <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/katsura/>

学校についての詳細や学校生活についてはHPをご覧ください。

E-mail: y3katura@edu.city.yokohama.jp 桂小学校HPのQRコードはこちら→



ちよつとした主体性

校長 寺澤 みゆき

先月中旬の特別時程の日のことでした。2人の高学年の児童が中休みに職員室に訪れました。養護教諭に、保健室を開けてほしいと頼みにきたのです。

おや、けがをした子と付き添いの子かな、と思いたずねてみると思いがけない言葉が返ってきました。

「今日は昼休みがないから、委員会の仕事ができない。だから、中休みにやろうと思って来た。」と、言うのです。

私は驚いて、担任の先生に言われて来たのか、と聞きました。すると、「ちがう、自分たちで考えて来た。」と、言うのです。大変失礼なことを言ってしまったと反省しつつも、よい意味で予想に反したうれしい答えだったので、大きな声でほめました。

自分のすべきこと、そしてそれが不可能な状況だということを理解し、いつ、どうしたらそれが可能になるかを自ら考え、行動に移すことができた姿でした。

学校では、学習指導要領に示された授業改善の視点「主体的・対話的で深い学び」を踏まえ教育活動を行っています。

そして、中教審では未来の社会に生きていく子どもたちへの教育について、「解き方があらかじめ定まった問題を効率的に解いたり、定められた手順を効率的にこなしたりすることにとどまらず、直面する様々な変化を柔軟に受け止め、…子供たち一人一人が、予測できない変化に受け身で対処するのではなく、主体的に向き合って関わり合い、…よりよい社会と幸福な人生の創り手となっていけるようにすることが重要である。」「【学習指導要領等の改善及び必要な方策等について(答申)】】としています。先にお話した子どもの行動はまさに、答申で語られている姿に一步近付いているものではないか、と思いました。

図工の学習でつくりたいものを決め、それにぴったりの材料を探し出し、作品をつくり上げる。総合的な学習の時間に、クラスで決めた活動を実現するため、方法を話し合い、企画し、様々な人に交渉する。お世話になった人を喜ばせたいと、子どもたちで話し合い、役割を決め、分担して準備を進める。改めて子どもたちの学校生活を見直してみると、中教審や学習指導要領で語られている主体的で対話的な学びは、様々な場面で展開されていることが分かります。

本校の児童アンケートでは、「めあてをもち、すすんで学習に取り組んでいる。」という設問に対しての肯定的な回答は下学年が94%、上学年が90%、「友達と話し合いながら学習するのは楽しい。」という設問に対しての肯定的な回答は、下学年92%、上学年91%と、どちらもよい結果でした。

このような結果を単に喜ぶだけでなく、主体的に学習や活動に取り組む子どもたちをほめ、価値付けつつ、学習活動を振り返り、検証し、更なる授業改善につなげていきたいと思います。

大寒を過ぎ立春を待つ1年間で一番寒いこの時期、子どもたちには「寒」のつく旬の食べものの紹介と共に、早寝早起き、健康管理とうがい手洗いを呼びかけました。

地域の皆様、保護者の皆様も、どうぞご自愛ください。今月も、本校の教育活動への変わらずの御支援、御協力をどうぞよろしくお願いいたします。